

会報

No. 71

平成18(2006)年11月15日

京都府図書館等連絡協議会

事務局

京都市左京区岡崎成勝寺町9
京都府立図書館内
TEL (075) 762-4655

合併に伴う

システム統合を実施して

与謝野町立図書館長 糸井 範子



与謝野町は、平成十八年三月一日に旧加悦町・旧野田川町・旧岩滝町が合併して、人口約二五、六〇〇人の町として誕生しました。

与謝は、古代からこの地域を代表する名称であり、また、与謝蕪村・与謝野礼蔵・鉄幹・晶子にもゆかりの深い土地であるため新町の名称として決定されました。

とは言え、それぞれの町がそれぞれの方法で産業や歴史や文化を刻み、行政事務を行ってきたものを一つに纏めることは、並大抵なことではなかったと思われれます。

図書館におきましては、町当局のご英断により、新町発足と同時にシステムを統合する運びとなり、一枚の利用者カードによって三施設の利用が可能となりました。利用できる資料も七万冊以上に増えました。三施設全ての資料をどこでも検索、貸出、返却が可能のため、例えば、本館で借りて野田川分室へ、或いは加悦分室へ返却するという利用の仕方

をしている人もいます。施設によっては貸出冊数より、返却冊数が多いという現象も出てきております。最後の施設で貸出中であっても、他の施設で利用可能なら、取り寄せもできますし、取り置きをして直接その施設へ行けば、すぐ借りることもできます。リクエストの多い図書については、複数冊ある場合は全体でやりくりをして、貸出せるという利点もあります。インターネット予約も、町内全域から予約ができて、受け取りも希望の施設でできるため、その利用も徐々に増えてつづいていきます。

合併してからの利用状況につきましては、各施設で多少の差異はあるものの全体として、三月から八月までの五ヶ月間の昨年度比は、貸出人数一・一五・四％、貸出冊数一・二八・五％となっておりです。(視聴覚資料は、貸出を行っておりませんので含まれておりません。)

合併してよかったと言っていた

だけるよう、地域に根ざした図書館を目指して、諸機関・諸施設の御指導・御援助を得ながら精一杯頑張っておりますが、まだまだ問題は山積みです。

幸い旧三町が同じシステムを使い、資料コード同士の重複や、利用者コードと資料コードの重複も無かったため、システム的には比較的スムーズに進んだものの、予算配分・選書業務・人員配置・施設管理・貸出規則・図書館(室)行事等の調整、カウンター業務の研修、図書の物流等について、各担当者の献身的な努力にもかかわらず、課題は多く残されております。

図書館は、生涯教育を支える重要な教育施設であるという自覚の下に、時代の要求もはっきりと受け止めつつ、利用者にとって居心地の良い場所であり続けるよう、今後ますます研鑽を積んで行きたいと思っております。



インターネット予約サービスについてのアンケート集計結果



★京都府内の図書館等 46 館にアンケートを実施（平成 18 年 8 月）
（回収率 100%）

*インターネット予約サービスを実施している館及び予定している館

実施館…13 館 実施予定館…4 館 未実施館…29 館
（うち検討中…10 館）



◎京都市は京都市中央図書館が一括して回答

◎南丹市と京丹後市は一部未実施の館を含む

実施館名	実施日(予定)
京都市中央図書館	18年1月
向日市立図書館	18年4月
長岡京市立図書館	15年10月
宇治市中央図書館	14年6月
八幡市立八幡市民図書館	16年10月
精華町立図書館	19年1月(予定)
南丹市立中央図書館	19年4月(予定)
南丹市八木図書館	19年4月(予定)
南丹市日吉図書館	16年1月
舞鶴市立東図書館	15年6月
舞鶴市立西図書館	15年6月
与謝野町立図書館	16年4月
与謝野町立図書館野田川分室	18年4月
与謝野町立図書館加悦分室	15年12月
京丹後市立峰山図書館	20年(予定)
京丹後市立あみの図書館	14年9月
京都府立図書館	18年4月

■……インターネット予約を実施又は実施予定

*インターネット予約できる範囲

- ・禁帯出以外全て …………… 12館
- ・貸出中資料のみ …………… 1館

*パスワードの管理者

- ・利用者 …………… 7館
- ・図書館 …………… 6館

*インターネット予約できる資料

- ・図書・雑誌 …………… 8館
- ・図書・雑誌・視聴覚資料 …… 4階
- ・図書・視聴覚資料 …………… 1館

*インターネット予約取り置き連絡方法

- ・メール・電話 …………… 5館
- ・メール・電話・FAX …………… 2館
- ・メール・電話・自分で確認 …… 2館
- ・電話 …………… 2館
- ・メール・自分で確認 …………… 1館
- ・メール …………… 1館

*インターネット予約の取消方法

- ・窓口 …………… 5館
- ・インターネット・電話・窓口 …… 2館
- ・電話・窓口 …………… 2館
- ・インターネット・メール・電話・FAX・窓口 …… 1館
- ・メール・電話・FAX・窓口 …… 1館
- ・メール・電話・窓口 …………… 1館
- ・インターネット・窓口 …………… 1館

*インターネット予約時の制限冊数

- ・3冊 …………… 6館
- ・10冊 …………… 3館
- ・12冊 …………… 1館
- ・7冊 …………… 1館
- ・5冊 …………… 1館
- ・2冊 …………… 1館

*インターネット予約後の貸出件数

- ・変わらない …………… 6館
- ・少し増えた …………… 4館
- ・減った …………… 2館
- ・不明 …………… 1館

*インターネット予約実施後の予約件数

- ・大幅に増えた …………… 6館
- ・少し増えた …………… 4館
- ・変わらない …………… 3館

*インターネット予約実施による業務量増加に対する職員数

- ・変わらない…………… 12館
- ・増えた…………… 1館

*インターネット予約以外の予約方法(窓口予約を除く)

- ・インターネット予約のみ…………… 8館
- ・ " +電話予約・FAX予約…………… 2館
- ・ " +電話予約…………… 2館
- ・ " +FAX予約…………… 1館

*インターネット予約の実施にあたり変更したこと、また、実施後、変更したこと。

- ・対象館指定、所蔵予約から全館書誌予約へ変更した。
- ・雑誌の最新号への予約をできるようにした。
- ・物流のトラックの便を増やした。
- ・予約冊数の制限を設けた。
- ・インターネット予約開始時は現物確保後の取消も可としていたが、後に不可とした。
- ・発注中資料への窓口からの予約ができるようにした。
- ・メールアドレス登録者へはメールで督促することとした。
- ・受取館の指定ができるようになった。
- ・電話でも受付を始めた。

*電話予約、FAX予約を実施、あるいは未実施の理由

- ・誰でもが来館せず予約できるようにするため、電話予約を実施。
- ・当該資料の確定や本人確認の方法について検討が必要なため今のところ未実施。

*電話予約、FAX予約受付時の本人確認・資料確認

- (本人確認) ・氏名、電話番号、貸出券の番号(利用者コード)
 ・氏名、貸出券の番号(利用者コード) ・氏名
- (資料確認) ・書名、著者名等 ・所蔵の確認をする

*インターネット予約サービスのメリット

- ・予約確保・督促をメールで行うので電話連絡などの業務が軽減された。
- ・図書館に直接出向かなくても、新着図書・人気図書がいち早く確認でき、そこから予約できるので利用の拡大につながる。
- ・いつでもどこでも資料を検索することができて、予約することができる。

*インターネット予約サービスのデメリット

- ・メールアドレスの入カミスなどで連絡がつかない方がある。
- ・予約分のみを借りられて、ブラウジングをしなくなる。
- ・延滞本にも予約がかかる。
- ・自動的に予約入力してくれるシステムではないので、翌朝に入力作業をしなければならない。
- ・職員が予約状況をこまめに確認し、資料を確保しておかないと、来室した利用者との間でトラブルの元になる。(利用者の予約状態は「仮予約」とし、職員が資料を確保後、連絡をした時点で「予約成立」ということを理解していただく)
- ・システムが正常に稼働している場合はよいが、トラブルが生じた時の対応が、システムメンテを含めたいめんど。

*これからインターネット予約サービスを始める図書館へのアドバイス

- ・始まってみなければ判らないこと、予想していないことが出てくるので実施館に見学に行き些細なことでも聞く。(申込み方法、年齢制限、予約冊数制限の有無、メール作成、予約の処理方法、マニュアル・申込書・利用案内の作成等)
- ・本の予約だけでなく、図書館の情報を多方面から発信できる工夫が必要。
- ・プログラムの表示・各登録画面は、丁寧に指示し、問い合わせが生じないようにする。
- ・ハード面は多少の余裕をもった機器構成にする。
- ・パソコンが普及している時代にあって、図書館へ来てもらうきっかけを作り、より多くの方に利用していただくためにも導入すべきサービスであると思う。職員の負担が増加すると懸念する声もあるが、試験的に導入したり、今回のようなアンケートをとることで対応が可能であることがわがると思う。



子ども読書に関心の
ある方集まれ!

子どもゆめ基金助成金を活用した
研修会を平成十八年十一月二十五日
(土) 午前十時二十分から京都市ア
バンティホールで開催します。図書
館職員はもとより、子どもの読書に
関心をお持ちの方は、ぜひご参加く
ださい。また、学校・文庫関係者な
どもにどんどんお声掛けいただきま
すようお願いいたします。

究所代表 小林 純子氏
絵本交換会
家庭等で不用になった絵
本・児童書を持ち寄って
互いに交換します。
(一人五冊まで)

第十五回 京都図書館大会報告

第十五回京都図書館大会が、百三
十四名の参加を得て、「館種を越え
て推進しよう!子どもの読書」を
テーマに去る九月六日(水)に京都
市子育て支援総合センターこどもみ
らい館で開催された。

午前 講演 「自然の中で生きた絵本体
験を!〜木城えほんの郷
からのメッセージ」
講師 木城えほんの郷
事務局長 森 一代氏

午後 講義及び実技指導
「わらべうたが読書の扉を
開くことば・ファンタ
ジー・想像」
講師 神戸コグダイイ芸術教育研

書館や学校等と連携し子どもたちに
多くの感動を与える取組をしていき
たい」など、子ども読書活動の推進
に向けて意欲がみられる結果とな
り、今後に生かせる大会となった。

★専門委員会コース★

研修研究委員会

七月六日の第一回委員会の協議に
基づき、各ブロックで実務研修会の
開催に向け取り組んでいます。
多くの方々のご参加をお待ちして
おります。

◎実務研修会日程

北部会場
平成十八年十二月六日(水)
場所 みやづ歴史の館
テーマ 「図書館活動と著作権」
講師 吉田 直樹氏(東京都立
中央図書館勤務・日本図
書館協会著作権委員会委
員)

中部会場(子どもゆめ基金事業)
上記の「京都府子ども読書活動
指導者研修会」参照
南部会場
平成十八年十二月五日(火)

場所 木津町中央図書館
テーマ 「児童サービスの取組に
ついて」

相互協力委員会

平成十八年度第一回相互協力委員
会が十月二十日(金) 京都府立図書
館で開催された。主な議題は、K-Li
及び雑誌総合目録について、また平
成十九年二月から実施するインタ
ネット取寄せ申込みサービスにつ
いての説明等があった。京都市からは
横断検索館として参加予定の報告が
あり、また府立から府内一冊のみ所
蔵図書について受入れていく方向で
の検討が概ね終了し、館内で調整中
であるとの報告があった。

広報委員会

平成十八年度の第二回広報委員会
を、九月七日(木)に京都府立総合
資料館で開催し、会報七十一号の編
集等について協議を行いました。

編集子

今回は、テーマを切口に京都
府の現状を紹介する新規企画の
第一弾として、インターネット
予約サービスについて各図書館
にお願いしたアンケート結果を
掲載しております。
今後、実施を検討されるうえ
で参考になればと広報委員一同
願っております。